資料１

第3期産業振興アクションプランの策定について

令和6年度第1回摂津市産業振興
アクションプラン懇話会

現行の第２期産業振興アクションプランの章立て

１章：産業振興プランの位置づけ

1.策定の背景
2.策定の目的
3.本プランの位置づけ及び計画期間

２章：摂津市の産業の概況とこれまでの産業振興施策

1.本市の現状と課題
2.産業振興アクションプランのこれまでの取組

３章：産業振興アクションプランの展開

1.基本理念　活力のある産業のまち「せっつ」
2.産業振興の方向性～３つの視点～

資料

1.懇話会委員名簿
2.懇話会開催経過
3.懇話会設置要綱
4.摂津ブランド認定品一覧
5.摂津ブランド啓発小冊子「another settsu」抜粋

第３期計画の章立て（案）

１章：産業振興プランの位置づけ

1.策定の背景と目的
2.本プランの位置づけ及び計画期間

２章：産業を取り巻く環境と摂津市の現況

1.社会情勢※
2.本市の概要
3.産業構造
4.工業
5.商業
6.農業
7.労働人口の推移

※人手不足・賃上げ・価格転嫁・事業承継などを中小企業白書から、またSDGSの取組み・かかわり方についても言及する。

３章：摂津市内産業の課題

1.これまでの取組み
2.アンケート調査の結果
3.SWOT分析
4.課題の整理

４章：産業振興アクションプランの展開

1.目指すべき将来像
2.具体的施策と進行管理

巻末資料

1.懇話会委員名簿
2.懇話会開催経過
3.懇話会設置要綱
4.摂津ビジネスサポートセンターの研究資料

アンケート調査の結果

業種

- 1位建設業(16.8%)　2位製造業(16.2%)　3位サービス業(15.2%)
- H28以降の新規創業についても、建設業が1位(19.6%)　2位サービス業(17.8%)　3位飲食業(12.1%)
- ⇒製造業は昭和中期の創業が多い。サービス業は創業・廃業を繰り返している。

行政に期待すること

- 全体的に「融資制度の充実」の要望が多い。業種ごとに見ると、製造業では「取引先・顧客の紹介・斡旋」の要望が多い。その他業種では「道路交通網の整備」の要望が多い。

課題

- 1位「人材・労働力の確保・育成」（42.4%）　2位「顧客開拓・市場開拓、販売力強化」(27.6%)
- 3位「製品・商品価格の値上げ」(18.6%)　4位「専門技術、接遇・応対の維持・強化」(18.1%)
- 5位「後継者対策」(16.0%)
- ⇒最大の課題は人手不足
- 特に建設業、製造業、運輸業で顕著である。逆に飲食・小売は人手不足感は低い。業種によってばらつきあり

経営者の年齢

- 4人に1人が70代以上という実情。また約１／４で後継者不在により、廃業あるいは売却を検討されている。

SWOT分析　～市内産業としての整理～

摂津市の産業における「SWOT分析」

本市の産業の強みと弱みを分類の上、本市が成長・発展するための機会と悪影響を及ぼしかねない脅威について整理を行いました。こうした「強み」「弱み」と「機会」「脅威」を掛け合わせ、摂津市の産業振興の戦略、具体的施策の方向性を抽出します。

			外部環境	
			機会	脅威
			・外国人人口、外国人労働者の増加傾向（技能実習制度及び特定技能制度の見直し、「育成就労」制度の創設に向けた取組） ・大阪関西万博の開催 ・国による中小企業における省力化投資の促進 ・国による適切な価格転嫁の取組（パートナーシップ構築宣言） ・DXの推進 ・SDG s 目標達成期限（2030年） ・Society5.0の実現	・少子高齢化社会の進行による絶対的な生産人口の減少 ・コロナ禍後、回復傾向にあった業況感の足元での不透明感 ・（物流の）2024年問題 ・経営者の高齢化 ・原材料の高騰（物価高） ・国際紛争、災害リスク ・賃上げの動き ・空き店舗、空き家の増加
内部環境	強み	・増益の傾向（今期→来期） ・技術力、製造（加工）精度 ・短納期対応 ・熟練技術者（→弱みでもある） ・サービス ・価格政策 ・営業、販売力 ・交通アクセスの利便性 ・地代、賃料 ・近接性 ・市内に約4,000ある事業所数	（強みを機会でどう活かすか） ・稼ぐ力の強化、高付加価値化 ・個社の強み、企業間連携を活かした新市場の獲得 ・標準化、省力化、DX化、生産性向上 ・多様な主体との連携 ・見せる工場の推進	（強みで脅威をどう乗り切るか） ・強みの見える化、差別化 ・PRの強化
	弱み	・人材、労働力の確保育成 ・顧客対策、市場開拓、販売力強化 ・製品、商品価格の値上げ ・専門技術、接遇、応対の維持強化 ・後継者対策 ・経営者の高齢化 ・従業員の減少傾向 ・人材育成に取組めていない ・外国人材の活用ができていない ・熟練技術者	（弱みを機会でどう克服するか） ・外国人材の活用に向けた環境整備 ・標準化、省力化、DX化、生産性向上、人材育成	（脅威に対して弱みによる影響をどう最小限に抑えるか） ・事業承継、後継者対策の意識 ・事業承継マッチング ・BCP策定 ・職業訓練機関の活用

SWOT分析　～支援機関（市）としての整理～

摂津市の産業における「SWOT分析」を受け、支援機関としての市の取組の整理

			外部環境	
			機会	脅威
			・外国人人口、外国人労働者の増加傾向（技能実習制度及び特定技能制度の見直し、「育成就労」制度の創設に向けた取組） ・大阪関西万博の開催 ・国による中小企業における省力化投資の促進 ・国による適切な価格転嫁の取組（パートナーシップ構築宣言） ・DXの推進 ・SDGｓ目標達成期限（2030年） ・Society5.0の実現	・少子高齢化社会の進行による絶対的な生産人口の減少 ・コロナ禍後、回復傾向にあった業況感の足元での不透明感 ・（物流の）2024年問題 ・経営者の高齢化 ・原材料の高騰（物価高） ・国際紛争、災害リスク ・賃上げの動き ・空き店舗、空き家の増加
内部環境	強み	・増益の傾向（今期→来期） ・技術力、製造（加工）精度 ・短納期対応 ・熟練技術者（→弱みでもある） ・サービス ・価格政策 ・営業、販売力 ・交通アクセスの利便性 ・地代、賃料 ・近接性 ・市内に約4,000ある事業所数	（強みを機会でどう活かすか） <経営力・競争力の強化> ■省力化（投資）の促進 ■ビジサポ等による経営指導・支援の強化 ■摂津ブランド認定や市HP等を通じた産業の発信力強化 ■商談会・展示会等の出展及びPR促進 ■オープンファクトリーの推進	（強みで脅威をどう乗り切るか） <経営力・競争力の強化> ■省力化（投資）の促進 <連携の強化> ■販路拡大のためのマッチング促進 ■職業訓練機関との連携（人材確保、リスキングなど）
	弱み	・人材、労働力の確保育成 ・顧客対策、市場開拓、販売力強化 ・製品、商品価格の値上げ ・専門技術、接遇、応対の維持強化 ・後継者対策 ・経営者の高齢化 ・従業員の減少傾向 ・人材育成に取組めていない ・外国人材の活用ができていない ・熟練技術者	（弱みを機会でどう克服するか） <経営力・競争力の強化> ■省力化（投資）の促進 ■オープンファクトリーの推進 <連携の強化> ■外国人材をはじめとする雇用促進 ■大阪産業局等他の支援機関との連携強化	（脅威に対して弱みによる影響をどう最小限に抑えるか） <連携の強化> ■事業承継、後継者対策の意識醸成 ■事業承継マッチング促進 ■BCP策定の推進

3期の方向性

アンケート結果

＜課題＞

■人手不足が最も大きい
■販路開拓
■価格転嫁

＜行政への要望＞
■融資制度
■取引先の斡旋

人手不足への対策として、融資を受けて、何かに投資したいと考えていると推測

SWOT分析

強み・弱みをふまえ、今後の機会・脅威の不確実性の高い環境に対応するために、以下の２つの強化が必要。

■経営力・競争力の強化
・省力化促進
・ビジサポによる支援
・産業PR
・雇用促進

■連携の強化
・支援機関も含む多様な主体との連携
・ビジネスマッチング

3期の方向性

最大の課題である「人手不足」について、**経営力・競争力・連携の強化**からのアプローチを図る。

３つの強化を進めた先に、人が集まり、定着が図られると考えるため。

中でも特筆すべきキーワードは、
「省力化」
省力化…人手に依存しないオペレーション構築や設備投資（DXをはじめとするシステムへの投資、自動化の設備投資）、業務の標準化
施策…省力化に対応したコンサル機能の強化
etc..
その他、ビジサポを中心とした企業間連携の強化により相乗効果を生み出していく。

産業振興の方向性～４つの視点～（案）

活力ある産業のまち「せっつ」

＜視点１＞
中小企業がいきいきと活躍できるまち（商工業）

- ◎ 展開１　中小企業の経営力・競争力向上の促進
- ◎ 展開２　事業所間の交流・連携の促進、支援機関との連携強化
- 展開３　商工業活性化の促進
- 展開４　企業立地・設備投資の促進
- 展開５　起業・創業の促進
- 展開６　観光の発信

＜視点２＞
中小企業がいきいきと活躍できるまち（農業）

- 展開７　都市農業への支援

＜視点３＞
誰もが安心していきいきと過ごせるまち（就労・雇用）

- 展開８　就労や雇用安定の促進

＜視点４＞
誰もが安心していきいきと過ごせるまち（消費生活）

- 展開９　商取引の安定及び消費者の支援

成果指標（案）

＜視点１＞
中小企業がいきいきと活躍できるまち（商工業）

指標	令和７年度（実績）	令和11年度（目標）
業績が向上（改善）見込みであると回答した事業者の割合の増加		

＜視点２＞
中小企業がいきいきと活躍できるまち（農業）

指標	令和７年度（実績）	令和11年度（目標）
作付面積割合の増加		

＜視点３＞
誰もが安心していきいきと過ごせるまち（就労・雇用）

指標	令和７年度（実績）	令和11年度（目標）
職業能力開発講座修了生が就労できた割合の増加		
地域就労支援事業を通じて就業した人数の増加		

＜視点４＞
中小企業がいきいきと活躍できるまち（消費生活）

指標	令和７年度（実績）	令和11年度（目標）
「直近1年間で消費者トラブルに遭った」と回答した市民の割合の減少		